

◇その他の意見

北信太駅前筋バス停から北信太駅まで距離があり、高齢者が歩いて行くのは難しい。一日でも早くバスが駅前に来るよう、実現に向けて検討をお願いしたい。



北信太周辺のまちづくりには、今後、長い年月がかかると思う。将来の子どものためにも子育て世代の住民の意見も大事にしてほしい。



以前にも北信太駅周辺を整備する計画があったが、立ち消えになってしまったと聞いている。今回は必ず実現してほしい。



アンケート等、市が精力的に進めており、良い印象を受ける。現時点のまとめ方は概ね考えを整理できていると思う。



駅利用者の居住地に応じて、駅前整備に対する意見は変わってくるが、駅近隣住民の声も踏まえながら、色々な立場で意見が違うことを理解して進めてほしい。



北信太駅の西側については、面的な整備ではなく、個々の問題（道路幅員が狭く車の見通しも悪いなど）に対して、方策を検討していくほうが良い。



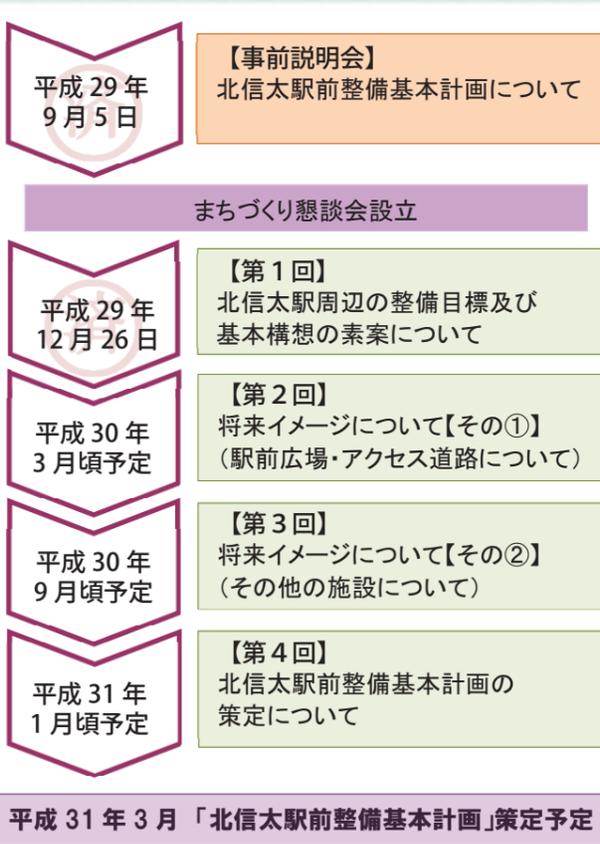
◇今後の進め方

●第1回まちづくり懇談会で提示した整備目標（素案）やまちづくり基本構想（素案）は、今後のまちづくり懇談会の議論も踏まえて適宜ブラッシュアップしていきます。

●第1回まちづくり懇談会の議論の中で、特に、「具体的な将来像がイメージできないと、議論を進めることができない」というご指摘を頂いたため、今後のスケジュール（第2・3回懇談会の内容）を見直しました。

●次回の懇談会では、具体的な将来イメージや類似事例などを示しながら、駅前広場の形やアクセス道路のあり方について意見交換を行う予定です。

●また、並行して、都市計画道路区域内などに土地や建物をお持ちの方に対する意向調査を検討・実施していく予定です。ご協力の程、宜しくお願いします。



【お問い合わせ】

和泉市 都市デザイン部 道路河川室（内 1476） E-mail：douka@city.osaka-izumi.lg.jp

都市政策課（内 1431） E-mail：tosei@city.osaka-izumi.lg.jp

TEL：0725-41-1551（代表） / FAX：0725-43-1348

（発行日：平成30年2月）



和泉市イメージキャラクター
コダイくん&ロマンちゃん



JR 北信太駅周辺地区まちづくり懇談会

ニュースレター

第2号

一使いやすくて住みやすい 和泉市北の玄関口のまちづくり

◇第1回まちづくり懇談会を開催しました！

- 平成 29 年 12 月 26 日（火）、第1回まちづくり懇談会を開催しました。
- 会の冒頭には、辻市長から「地域の方々からの意見をしっかりと聞いて、地域に求められている計画を立案していきたい。」とのお言葉をいただきました。
- この懇談会には、北信太駅周辺地区の住民の代表者の方々をはじめとした、21 名の方が参加しています。ファシリテーター（話し合いの進行役）として、大阪市立大学の内田教授を中心に議論を進めました。
- 第1回目となる今回は、下記の調査結果や整備目標（素案）とまちづくり基本構想（素案）を基に、委員の方一人ひとりからご意見をいただきました。



▲辻市長のあいさつ



▲懇談会の様子

【報告①】北信太駅周辺利用状況調査結果

- 平成 29 年 10 月 18 日（水）に「北信太駅周辺駐輪状況調査」と「北信太駅自由通路利用者数調査」を実施しました。

北信太駅周辺駐輪状況調査結果

- 北信太駅周辺の駐輪場の駐輪可能台数は約 1,800 台でした。駐輪場利用台数については、最大で約 1,100 台であり、駐輪場の収容台数には余裕があることがわかりました。
- 路上駐輪の状況についても調査しましたが、駐輪場不足による路上駐輪は発生していない状況でした。

北信太駅自由通路利用者数調査結果

- 北信太駅の自由通路利用者数は約 5,000 人/日で、もっとも多い 7 時台では 1 時間あたり約 1,000 人が利用していました。
- 方向別の通行量は、駅東側から天王寺方面への駅利用が大半を占めています。

【報告②】周辺住民アンケート調査結果

- 信太校区及び鶴山台北・南校区の住民の方々（無作為で 1,400 名抽出）に対して、平成 29 年 10 月 17 日（火）～11 月 1 日（水）にかけて、北信太駅前整備に関するアンケート調査を実施しました。

北信太駅周辺の問題点について

- 北信太駅周辺の問題点としては、「道が狭く歩行者と自動車とが交錯して危険である。」について、回答者の 8 割以上が問題であると回答しています。

北信太駅周辺のまちづくりのイメージについて

- まちづくりのイメージとしては、「バスやタクシーなどの公共交通が利用しやすい交通利便性の高いまちづくり」について、回答者の約 8 割が重要であると回答しています。

◆利用状況調査及びアンケート調査の結果について

報告①・②の調査結果の詳細は、市のホームページに公開されている、第1回まちづくり懇談会の資料をご覧ください。

★北信太駅前整備に関する情報は、市のホームページにて『北信太駅前整備』と検索してください

【議題①】整備目標（素案）について



北信太駅周辺が抱えている問題を解決するための整備目標（素案）について、意見交換を行いました。

1. 誰もが円滑に移動できるまちづくり

・和泉市の北の玄関口として、鉄道やバス、タクシーなどの地域公共交通を誰もが気軽に利用できる環境の整備を目指します。

2. 誰もが住みやすい安心・安全のまちづくり

・生活道路や通学路の安全性を高めたり、バリアフリー化を進め、誰もが安心して暮らせる環境の整備を目指します。

3. 日常生活の拠点となるまちづくり

・主に地域住民の方々が気軽に集い、日常生活で利用できる沿道の生活利便機能や賑わいを備えた環境の整備を目指します。

4. 地域の魅力を感じるまちづくり

・信太貝吹山古墳や葛葉稲荷神社をはじめとした豊富な地域資源を活かした、歴史・文化を感じることができる環境の整備を目指します。

－頂いた主な意見－

現状の駅前には、幅員が狭いうえに歩道がなく、自動車の交通量も多いため、小さい子どものみで利用するときには怖いという思いがある。駅前広場整備にあたっては、使いやすさと高齢者や子どもの安全を両立してほしい。

北信太駅南側の踏切は幅員も狭く危険であり、車いすやベビーカーの方が踏切を利用しているのは問題である。

整備目標の項目は、抽象的であり、議論をするのが難しい。具体的な整備内容が提示された段階で、やっと議論できると思う。

整備目標の「4. 地域の魅力を感じるまちづくり」について、「地域の魅力」という言葉は抽象的である。この点を具体化してほしい。例えば「良好な住環境の保全・創出」という視点を盛り込んだ方がいいのではないか。

まず「1. 誰もが円滑に移動できるまちづくり」と「2. 誰もが住みやすい安心・安全のまちづくり」の達成が必須であると思う。「3. 日常生活の拠点となるまちづくり」と「4. 地域の魅力を感じるまちづくり」は整備目標1、2が達成できたうえで考えることだと思う。

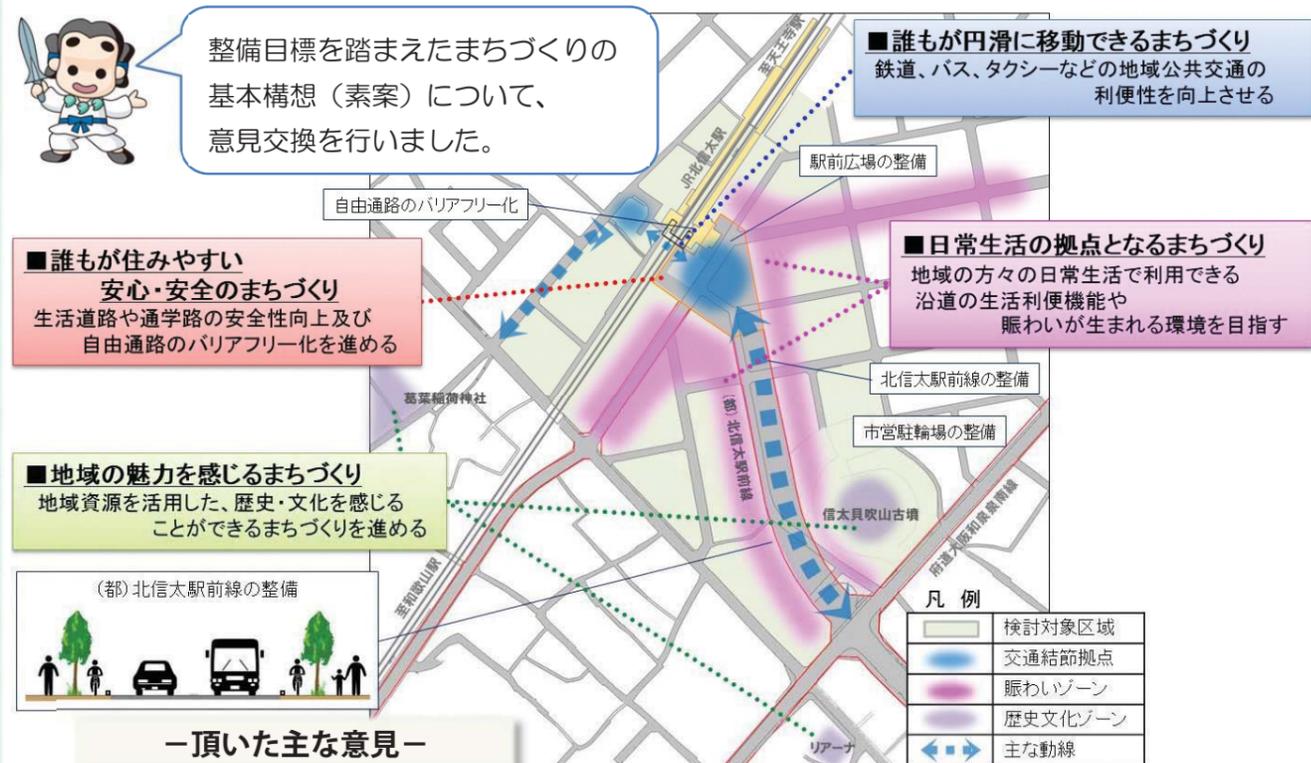
－今後の方針－

- ・整備目標を基に、短期的な取組と長期的な取組などを整理し、今後、整備スケジュール（案）について、検討を行います。
- ・整備目標には、北信太駅周辺の歴史や伝統を、出来るだけ具体的に表現します。

【議題②】まちづくり基本構想（素案）について



整備目標を踏まえたまちづくりの基本構想（素案）について、意見交換を行いました。



－頂いた主な意見－

北信太駅周辺の信太山駅や富木駅等と比べて、北信太駅の利用者数はどのくらいの規模なのか。将来の整備イメージを想像するために、北信太駅と同規模の駅の事例を示してほしい。

駅前の広さが分かりにくい。将来の整備イメージを「見える化」してほしい。また、駅前広場の範囲は、すでに確定しているのか。

今後、北信太駅前が必要と考えられる機能も検討しながら、都市計画区域として決定されている駅前広場の範囲についても検証していきます。

賑わいゾーンとしてピンク色で着色されているが、具体的なイメージを教えてください。

（都）北信太駅前線の整備により、車のアクセス動線が確保できるため、例えば、現在の道路を一方通行や歩行者優先にすることで、賑わいを創出することも考えられる。ただし、周辺住民の方々の利便性も確保する必要があるため、様々な意見を踏まえて、今後、検討していきます。

送迎の自動車に対応することは重要だと思うが、それを前提に駅前広場を検討すると、地元への負担が大きくなると思う。しかし、自家用車でのアクセスも最低限は確保してほしい。

（都）北信太駅前線ができて送迎の自動車や路線バスが駅前まで入れるようになるのはいいことだが、送迎の自動車が（都）北信太駅前線以外の周辺の道路に入ってくることを懸念している。

－今後の方針－

- ・次回の懇談会では、北信太駅と同規模の駅における整備事例を紹介します。
- ・また、次回以降の懇談会で、複数パターン計画案を提示し、イメージをもっていただいたうえで、具体的な整備イメージや整備による変化について、議論していきます。